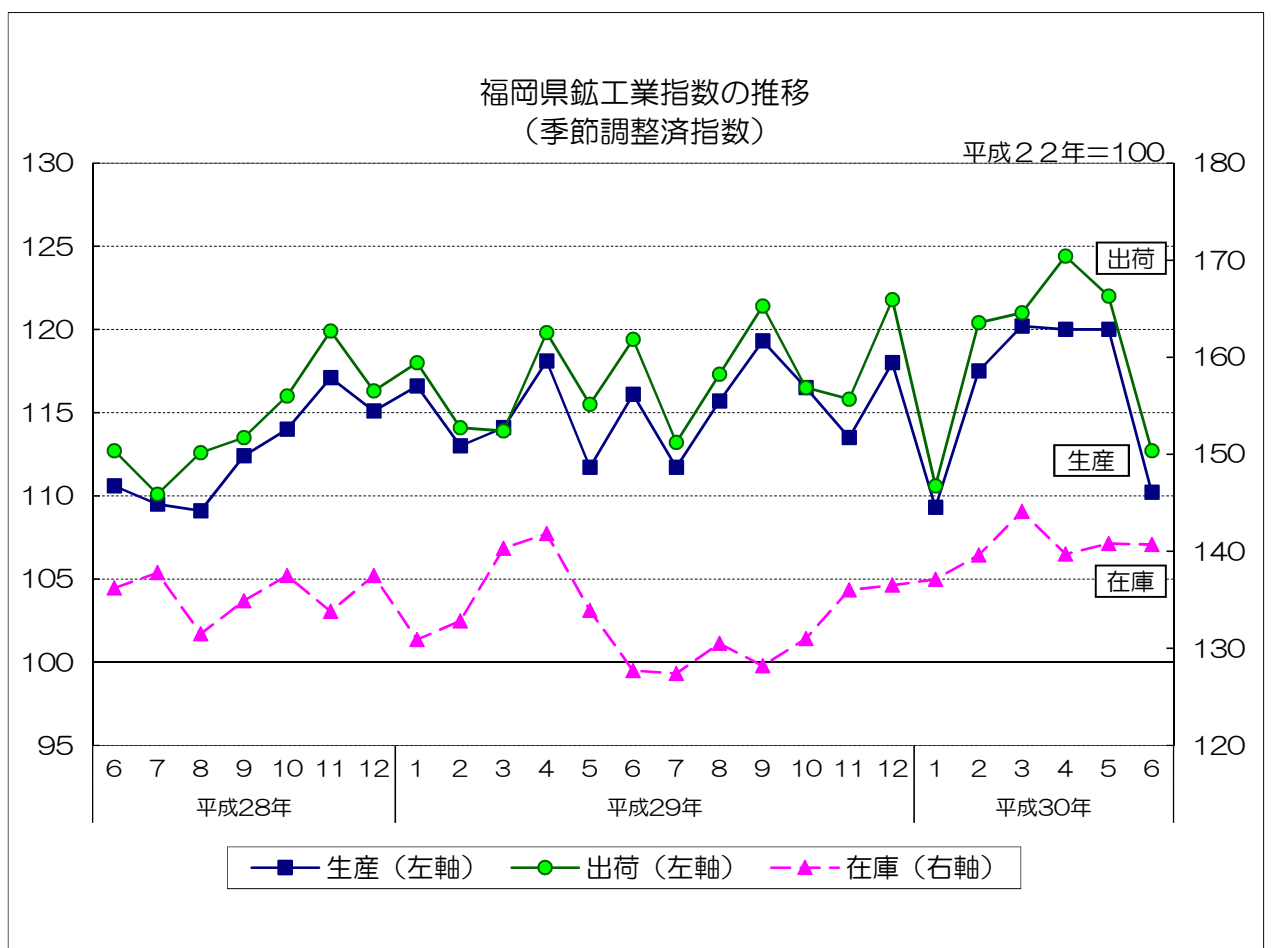


平成22年基準

福岡県鉱工業指数月報

(平成30年6月)



福岡県鉱工業指数 利用上の注意

1. 基準年次
平成22年（2010年）を基準年とする。
2. 作成の範囲
日本標準産業分類の鉱業及び製造業を基礎とした産業の生産指数（付加価値額ウェイト）、生産者出荷指数及び生産者製品在庫指数について、原指数と季節調整済指数を作成した。
3. 分類
日本標準産業分類を基本とした業種分類と、採用品目の用途により財別に格付けした特殊分類の2通りの方法によっている。
4. 採用品目
生産指数及び生産者出荷指数は187品目、生産者製品在庫指数は118品目である。
5. ウェイト
生産、出荷及び在庫指数の各品目のウェイトは、基準年次の付加価値額、生産者出荷額及び生産者製品在庫指数の鉱工業全体に対する一万分比である。
6. 作成の方法
総合算式は、基準時固定加重算術平均法（ラスパイレス算式）である。
7. 季節調整
季節調整の方法は、センサス局法を使用している。
季節調整済指数とは、原指数を季節指数で割ることによって、季節変動を除去した系列のことである。
8. 統計表中の符号
「-」：該当する数値がない場合
「O.O」：数値が単位未満の場合
「▲」：マイナスの場合
「x」：秘匿の場合
9. 資料
経済産業省生産動態統計調査、その他既存の資料及び県調査による。

平成30年6月の鉱工業指数

概況

○ 平成30年6月の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前月比8.2%低下の110.2、出荷が同7.6%低下の112.7、在庫が同0.1%低下の140.7となった。

- (1) 生産
 季節調整済指数 : 110.2で前月比8.2%低下 (2か月ぶりの低下)
 原指数 : 114.2で前年同月比6.4%低下 (5か月ぶりの低下)
- (2) 出荷
 季節調整済指数 : 112.7で前月比7.6%低下 (2か月連続の低下)
 原指数 : 116.4で前年同月比7.0%低下 (5か月ぶりの低下)
- (3) 在庫
 季節調整済指数 : 140.7で前月比0.1%低下 (2か月ぶりの低下)
 原指数 : 140.5で前年同月比10.2%上昇 (2か月連続の上昇)

○ 前月比（季節調整済）

	[上昇]	[横ばい]	[低下]
生産（19業種中）	7業種	0業種	12業種
出荷（19業種中）	4業種	0業種	15業種
在庫（18業種中）	8業種	1業種	9業種

(1) 九州・全国との比較

（平成22年＝100）

		季節調整済指数		原指数	
			前月比%		前年同月比%
福岡県	生産	110.2	▲ 8.2	114.2	▲ 6.4
	出荷	112.7	▲ 7.6	116.4	▲ 7.0
	在庫	140.7	▲ 0.1	140.5	10.2
九州	生産	105.6	▲ 3.6	107.7	▲ 5.0
	出荷	110.9	▲ 0.7	112.7	▲ 5.7
	在庫	122.9	▲ 0.5	121.7	7.8
全国	生産	102.5	▲ 1.8	104.8	▲ 0.9
	出荷	101.8	0.3	103.3	▲ 0.2
	在庫	111.4	▲ 1.9	112.1	2.4

(2) 前月比（季節調整済）での上昇低下（生産指数のみ）

上昇に寄与した業種	低下に寄与した業種
鉄鋼業	輸送機械工業
木材・木製品工業	はん用・生産用機械工業
パルプ・紙・紙加工品工業	化学工業
窯業・土石製品工業	食料品・たばこ工業
家具工業	金属製品工業
鉱業	電気機械工業
石炭製品工業	電子部品・デバイス工業
	ゴム製品工業
	非鉄金属工業
	繊維工業
	プラスチック製品工業
	印刷業

四半期別指数の動向

平成30年 4～6月期の概況

○ 今期の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前期比0.9%上昇、出荷が同2.0%上昇、在庫が同2.4%低下となった。

(1) 生産

季節調整済指数 : 116.7で前期比0.9%上昇 (2期ぶりの上昇)
 原指数 : 113.2で前年同期比1.0%上昇 (8期連続の上昇)

(2) 出荷

季節調整済指数 : 119.7で前期比2.0%上昇 (2期ぶりの上昇)
 原指数 : 115.0で前年同期比0.9%上昇 (8期連続の上昇)

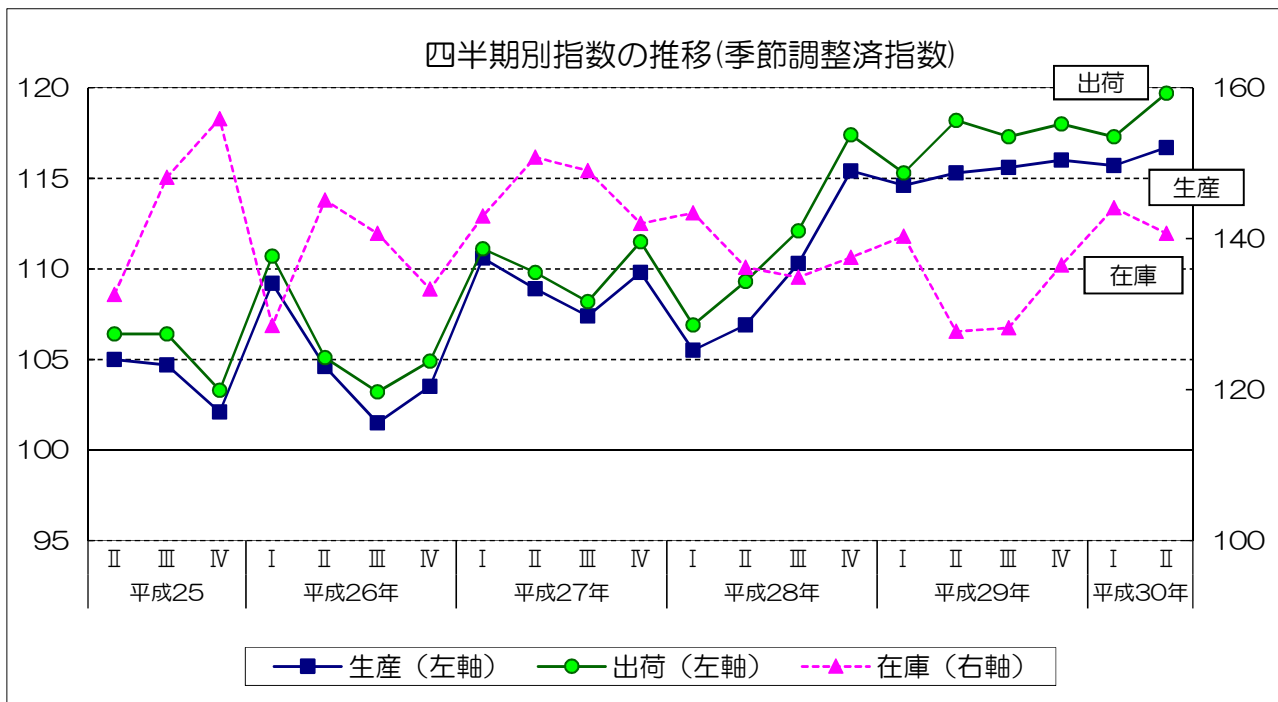
(3) 在庫

季節調整済指数 : 140.7で前期比2.4%低下 (4期ぶりの低下)
 原指数 : 140.5で前年同期比10.2%上昇 (2期連続の上昇)

平成22年=100

		生 産		出 荷		在 庫	
		季節調整済 指数	前期比 (%)	季節調整済 指数	前期比 (%)	季節調整済 指数	前期比 (%)
29年	4～6月期	115.3	0.6	118.2	2.5	127.7	▲ 9.0
	7～9月期	115.6	0.3	117.3	▲ 0.8	128.2	0.4
	10～12月期	116.0	0.3	118.0	0.6	136.5	6.5
30年	1～3月期	115.7	▲ 0.3	117.3	▲ 0.6	144.1	5.6
	4～6月期	116.7	0.9	119.7	2.0	140.7	▲ 2.4
		原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)
29年	4～6月期	112.1	7.4	114.0	7.9	127.5	▲ 6.3
	7～9月期	116.9	3.8	118.2	3.8	135.9	▲ 5.0
	10～12月期	117.5	0.2	120.7	0.2	133.2	▲ 0.7
30年	1～3月期	115.1	1.5	117.1	2.3	131.0	2.7
	4～6月期	113.2	1.0	115.0	0.9	140.5	10.2

※在庫の数値は期末値。



全業種・主要8業種の動向

(平成30年6月)

○ 全業種の動向

- (1) 生産指数は110.2(季節調整済)となり、前月と比べると、鉄鋼業、木材・木製品工業などが上昇したが、輸送機械工業、はん用・生産用機械工業などが低下したため、総合で前月比8.2%低下(前年同月比6.4%低下)となった。
- (2) 出荷指数は112.7(季節調整済)となり、前月と比べると、木材・木製品工業、鉄鋼業などが上昇したが、輸送機械工業、はん用・生産用機械工業などが低下したため、総合で前月比7.6%低下(前年同月比7.0%低下)となった。
- (3) 在庫指数は140.7(季節調整済)となり、前月と比べると、輸送機械工業、鉄鋼業などが上昇したが、金属製品工業、化学工業などが低下したため、総合で前月比0.1%低下(前年同月比10.2%上昇)となった。

○ 主要8業種の動向

[生産]

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	1.3	0.6	特殊鋼冷間仕上鋼材、特殊鋼熱間圧延鋼材、鋼帯等
金属製品	▲9.8	▲9.2	橋りょう、飲料用缶、粉末や金製機械材料等
はん用・生産用機械	▲17.8	▲9.0	クレーン、金型、数値制御放電加工機等
電子部品・デバイス	▲1.6	22.5	シリコンダイオード、トランジスタ、整流素子等
輸送機械	▲11.4	▲9.7	四輪自動車等
窯業・土石製品	0.8	▲4.3	せっこうボード、生コンクリート、ガラス短繊維等
化学	▲12.9	▲14.4	ビスフェノールA等
食料品・たばこ	▲4.6	▲8.9	ビール等
総合	▲8.2	▲6.4	—

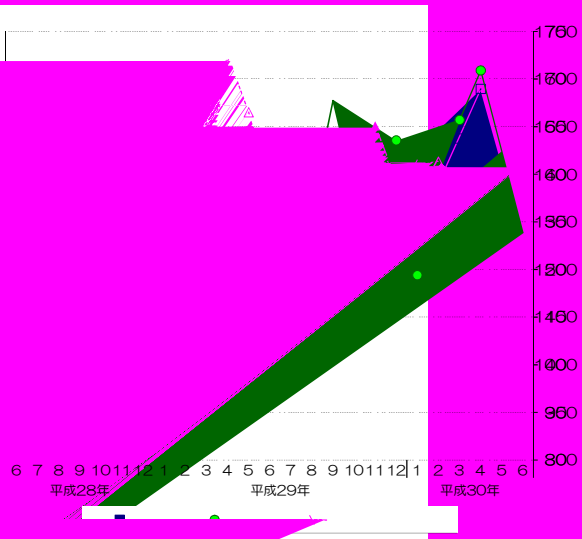
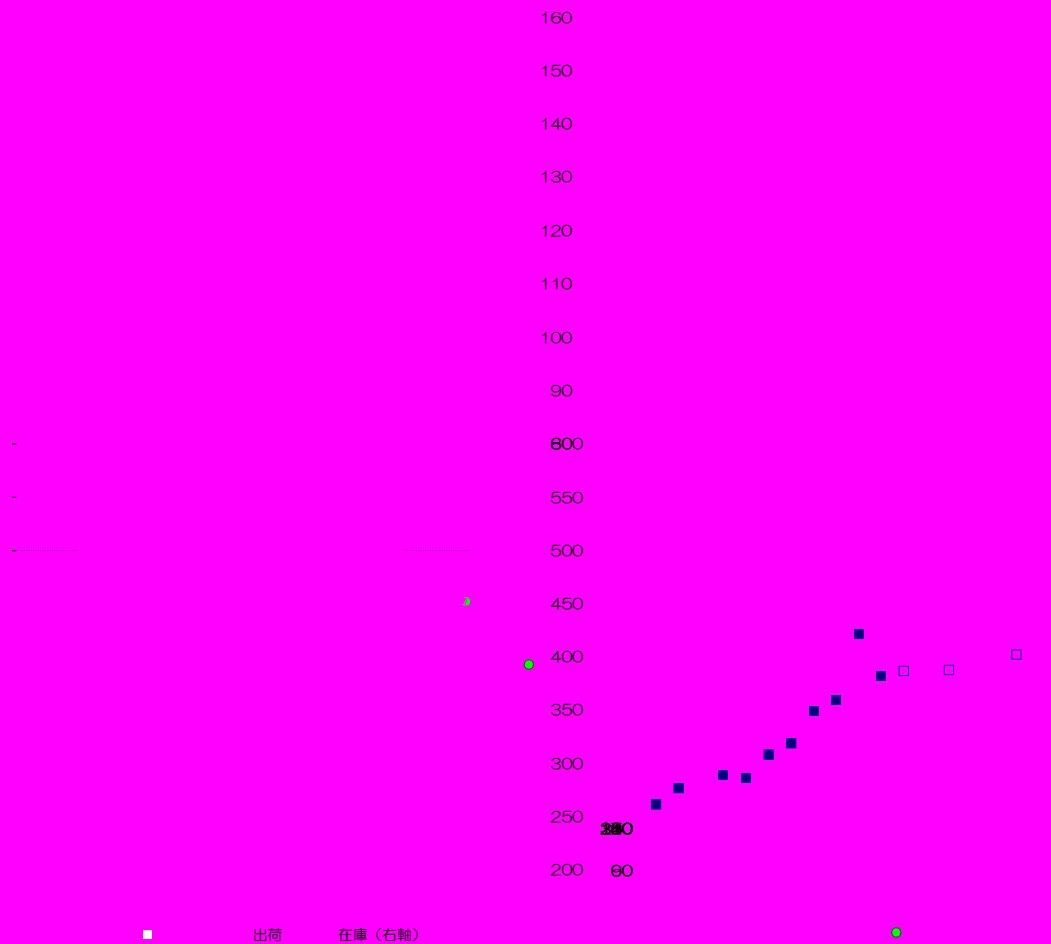
[出荷]

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	2.1	4.1	特殊鋼熱間圧延鋼材、プリキ、鋼帯等
金属製品	▲2.6	▲7.5	橋りょう等
はん用・生産用機械	▲12.7	▲8.1	クレーン、金型、産業用ロボット等
電子部品・デバイス	▲5.7	18.4	整流素子、計数回路、トランジスタ等
輸送機械	▲11.9	▲11.6	四輪自動車等
窯業・土石製品	▲2.8	▲10.2	耐火れんが等
化学	▲7.5	▲13.3	ビスフェノールA、医薬品、ポリカーボネート等
食料品・たばこ	▲6.0	▲13.6	ビール等
総合	▲7.6	▲7.0	—

[在庫]

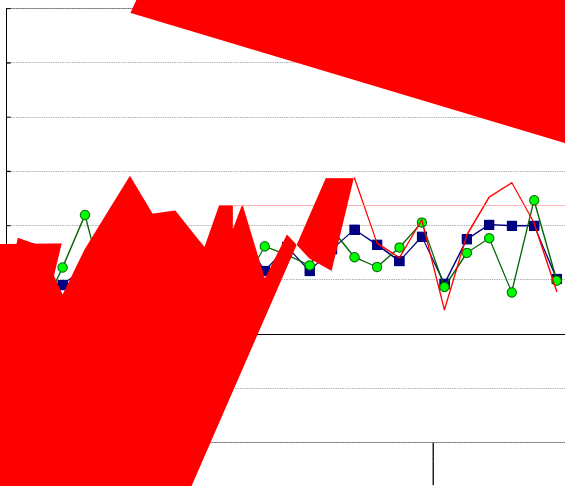
業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	2.9	1.2	特殊鋼冷間仕上鋼材、鋼帯、鋼半製品等
金属製品	▲5.3	15.1	ガス湯沸器、金網
はん用・生産用機械	▲1.3	20.0	ショベル系掘削機等
電子部品・デバイス	▲0.1	121.5	整流素子
輸送機械	2.8	5.3	四輪自動車
窯業・土石製品	3.1	3.4	耐火れんが等
化学	▲3.0	14.5	ビスフェノールA、触媒等
食料品・たばこ	▲0.7	1.9	焼酎等
総合	▲0.1	10.2	—

(注) 前月比は季節調整済指数、前年同月比は原指数による。



化学工業 (w=631.9)

福岡県
鉱工業総合



w=18.2)

生産財 (w=3748.3)

平成22年基準 福岡県鉱工業指数月報
(平成30年6月)

福岡県企画・地域振興部調査統計課
代 表 (092) 651-1111

直 通 (092) 643-3190
F A X (092) 643-3192
e-mail chosa@pref.fukuoka.lg.jp